



ヘルパーになったきっかけ

私がヘルパーになったきっかけは・・・というより、姉妹二人の長女としてこの世に生まれ、物心ついたときから、「お前は長女だから、お父さんとお母さんの面倒を見るんだよ」と洗脳され・・・事務・営業・秘書と全国を飛んで仕事をしているうちに、ふと自分の年は？両親の年は？と振り返ったら、両親も仕事を引退し私が引き取り同居する事になり、今はとても元気だけれど、寝たきりになったら・・・認知症になったら・・・と言う不安から、介護の基本だけでも学んでおこう！！と思い、ヘルパー2級を取得しました。ところが、介護を学んでいるうちに、介護の「資格」の多さにびっくりしました。「資格」を取得することで学んだ「介護」の奥深い所も見えてきました。「介護」と言うと「お年寄り、老人」というイメージがありますが、障害の方の介護もありました。目の不自由な方を介護する場合の「同行援護」という資格や、ヘルパーを経て、介護福祉士そして介護支援専門員という最後の資格になるのかな？

私は認知症のグループホームでの仕事を2年、訪問事業所5年目に突入！！あと残っている資格は・・・介護支援専門員！！自分に合っている仕事かどうか・・・その前に受験するかどうか？

両親は、バイクで父が母を後ろに乗せて飛び回っています。まだ、介護のお世話になっていません。私が両親を介護する時は、老々介護になりますね・・・両親を見るつもりで取得したヘルパー・・・今やりがいを感じながら、資格を取得して良かったと両親にも感謝しています。

大槻 昌子

